



1 はじめに

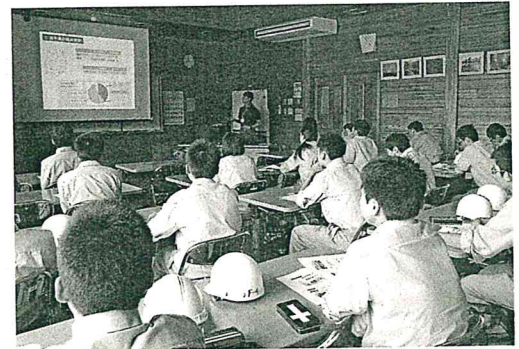
去る8月19日、岩手県林業技術センターでは、県内の林業関係学科で学び、進路を決める重要な時期にある高校生2年生を対象として、高性能林業機械基本操作研修会を開催しました。

当日は、盛岡農業高等学校2年生21名(男18名、女3名)、久慈東高等学校2年生9名(男8名、女1名)が参加しました。

2 研修概要

(1) 室内研修  
当センターの職員が講師となり、岩手県の森林・林業の現状や高性能林業機械の導入が進む背景・機械の特徴などについて講義し、これから体験する機械の理解を深めてもらいました。

次に、機械研修コースに移動して機械操作を体験しました。



真剣に講義を聞いて立派でした

(2) 不整地運搬車の操作

今回は高性能林業機械の他に、比較的簡単に操作できる不整地運搬車の操作体験を行いました。生徒が一人で機械に乗り込み、講師がそばについて場内のコースを周回しました。

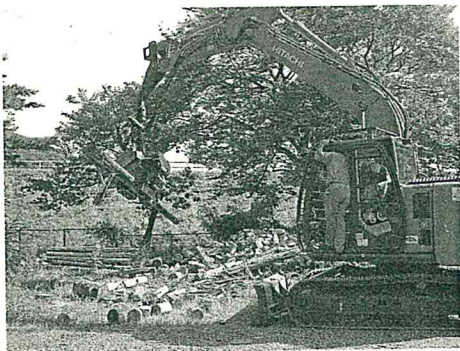


斜面の上り下りは特に緊張！不整地運搬車

3つの機械の中で一番簡単な操作だったようですが、コースには急斜面もあり、下り坂で減速させることや、バック駐車の手が難しかったようでした。

(3) ハーベスタの操作

今回、伐倒はせず、丸太を掴み、玉送り(枝払い)、玉切り、集材の操作でした。操作レバーが多く、縦に苦戦していたのにも関わらず「一番面白かった」と、空き時間に再挑戦する生徒が多かったのはハーベスタでした。



生徒に大人気のハーベスタ操作体験

生徒たちにとって林業はチェーンソー・体力勝負のイメージが強かったようで、素材生産の伐木から運材まで全ての工程を機械で行えること

を知り、「林業へのイメージが変わった」との声が多く聞きました。

(4) スキッタの操作

アンケートでは、一番難しいと声が多かったスキッタ。操作ボタンは少ないものの、後ろをむいて見えにくい状態で丸太を掴むのに苦労していました。



女の子も難しいスキッタ操作に挑みました

3 おわりに

今後とも、一人でも多くの高校生が林業に興味を持ってくれる研修を実施し、将来多くの林業就業者を輩出できるよう努めていきます。

林業技術センター普及班

019(698)1337